

科目名	論理国語	学年類型	3年	単位数	4単位	話すこと 書くこと	
単元名	自身の主張を整理しよう					読むこと	○
教材	オリジナル教材（各種グラフ・データ等）						
単元の評価規準							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)		「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすること。(A書くこと(1)エ)		学習課題に対する自身の主張を明確にする活動を通して、根拠と論拠を意識しながら、説得力のある主張ができるよう粘り強く取り組んでいる。			
主たる言語活動							
根拠と論拠を意識しながら自身の主張を明確にする							

時間	授業のねらい・学習活動	重点項目			評価の方法
		知	思	態	
1	与えられた課題についてグループで話し合い、思考を深める。 ①「現在の日本の若者（18歳未満）は『幸せ』だと言えるか」という題材を知る。 ②ワールドカフェ方式を用い、与えられた課題について思考を深める。その際にイメージマップを用いて話し合いを記録する。			○	・行動の点検 (グループワーク)
2	グループでの話し合いを踏まえ、自身の主張を明確にする。 ③今回の題材に対して説得力のある主張をするためには、「幸せ」の定義（論拠）とデータ等の客観的事実（論拠に基づいた根拠）を挙げる必要があることを知る。 ④ワークシートを用い、論拠、根拠を整理した上で自身の主張を明確にする。根拠を裏付ける客観的資料についても検討する。	○	◎	○	・記述の分析 (ワークシート)
3	相互に評価し合う・学習を振り返る。 ⑤生徒4～5人でグループを作り、ワークシートを読み合い、意見を共有する。主張が明確になっていない箇所や改善点を相互に指摘し合う。 ⑥振り返りアンケートに記入する。			◎	・記述の確認 (振り返りシート)

思考を拡散した上で、それらの相互の関連性を可視化できる思考ツールとしてイメージマップを用いた。

※重点項目の欄について、指導に生かす評価には「○」を、記録に残す評価には「◎」を付す。

ルーブリック

	A	B	C
思考・判断・表現	多角的・多面的視点で、適切な論拠及び根拠を挙げて自身の主張を明確にしている。	適切な論拠及び根拠を挙げて自身の主張を明確にしている。	論拠及び根拠を挙げて自身の主張を明確にしている。
改善案			

次年度への申し送り事項
-------------